

のあゆみ

展覽会

秀長と郡山

秀長が残した輪は
今もここにある



【開催期間】

2026年1月22日木～2027年1月31日日

【会場】

郡山城跡 東多聞櫓

天正13年（1585）9月3日、豊臣（羽柴）秀長は、兄・秀吉とともに5000人の將士を従えて郡山城に入りました。それ以降、郡山城は豊臣政権による畿内統治の拠点の一つとして整備され、政治的意義も大いに飛躍しました。秀長がつくった郡山城は、豊臣家滅亡後の幕藩体制下でも畿内統治の要所として引き継がれ、近代以降も都市の礎となり、今日の大和郡山市の土台となりました。

また、秀長が進めた郡山城下町の経済振興策は、住民による自治制度「箱本制度」へと昇華し、江戸時代を通じて受け継がれ、城下発展の基礎となりました。

秀長が兄とともに天下一統に向かう拠点の一つとなった、郡山。本展覧会では、郡山城から出土した資料を通じて城の実態と秀長の足跡を辿ります。あわせて、城やその周辺で出土した各時代の資料から地域の歩みを振り返ることで、秀長がなぜこの地を拠点としたのか、郡山に何を遺したのかを顕彰します。

大和郡山市

開催期間

2026年1月22日（木）
～2027年1月31日（日）

※会期中は原則的に無休（令和8年12月28日～令和9年1月4日、「大河ドラマ館」の休館日は休館）

開場時間

10:00～17:00
(最終受付16:30)

入場料金

一般 300円

※中学生以下、市内在住または市内に所在する高校に通学する高校生、障害者手帳をお持ちの方（介助者1名を含む）は無料

会 場

郡山城跡 東多聞櫓



►近鉄郡山駅から徒歩約10分 ►JR郡山駅から徒歩約15分



春岳院 留蓋瓦



筒井城 繪画土器



郡山城 金箔瓦



郡山城 転用石仏



平城京 錢で蓋した壺

詳しくは大和郡山市ホームページで ▶



問合せ

大和郡山市役所 まちづくり戦略課 文化財保存活用係

〒639-1198 奈良県大和郡山市北部山町248番地4 TEL 0743-53-1151 (内線 733)